

最近の機械貿易動向(10月)～輸出は前月に比べ大きく鈍化～

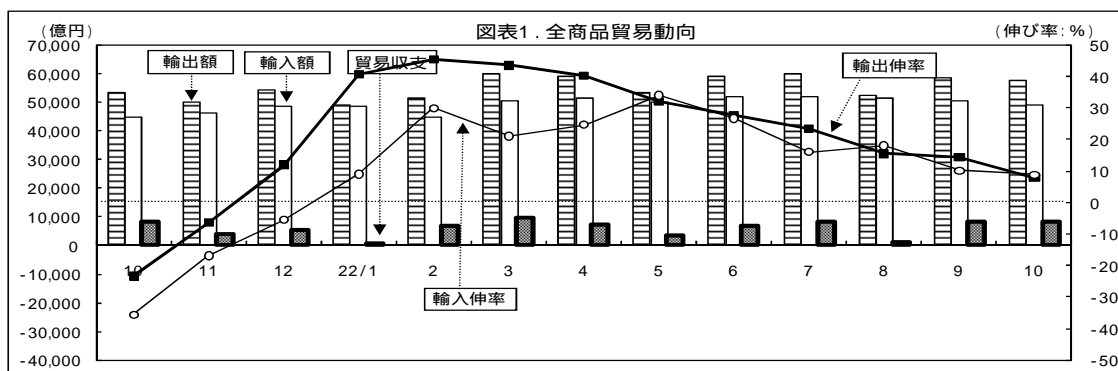
2010.12.22.

平成22年10月の機械輸出額は、3兆7,816億円、対前年同月比10.5%増と前月に比べ伸び率を大幅に鈍化させた。この要因は、対ドルレートが月間で83.3円と過去最高値となったことに加え、営業日が昨年比1日少なく、合わせて約10%の減少要因になったこと、中国向けの伸び率が拡大したものの、その他地域、NIES/ASEAN向けの伸び率が縮小し、EU向けがマイナスとなったことが上げられる。

11月の機械輸出は、対ドルレートが81.6円と月間最高値を更新したものの、営業日が一日多いことから1.2%程度の減少要因となり、実質伸び率を10月の20.5%増とすると、前年比19%増程度の伸びになるものと予想される。11月上中旬の全商品輸出額は10.8%増となっている。

1. 全商品貿易動向～輸出は11ヶ月ぶりに1ケタ台へ、輸入も9ヶ月ぶりに1ケタ～

- 平成22年10月の全商品輸出額は5兆7,241億円、前年同月比(以下同じ)7.8%増と増加したものの8ヶ月連続で伸び率を低下させ、11ヶ月ぶりに1ケタ台となった(9月14.3%増)。商品別では、全輸出額の20%を占める一般機械は31.1%増と高い伸びを示したが、22%の輸送用機器(4.2%増)、19%の電気機器(2.4%増)、10%の化学製品(2.1%増)は前月に続き一桁の低い伸びにとどまっている。
- 輸入額は4兆9,029億円、8.9%増と9ヶ月ぶりに1ケタ台となった。これは、全輸入額の9%を占める化学製品(2%増)が二桁増から伸び率を低下させたこと、又2%の輸送用機器(13.7%減)がマイナス幅を拡大させたことによる。一方、27%を占める鉱物性燃料(12.7%増)、14%の電気機器(15.2%増)、鉄鉱石等原料品(46.5%増)は高い伸びとなった。
- この結果、10月の貿易収支は、輸入の伸び率が輸出の伸び率をやや上回ったが、輸出額が輸入額より大きかったため、2%増の8,213億円の黒字となった。

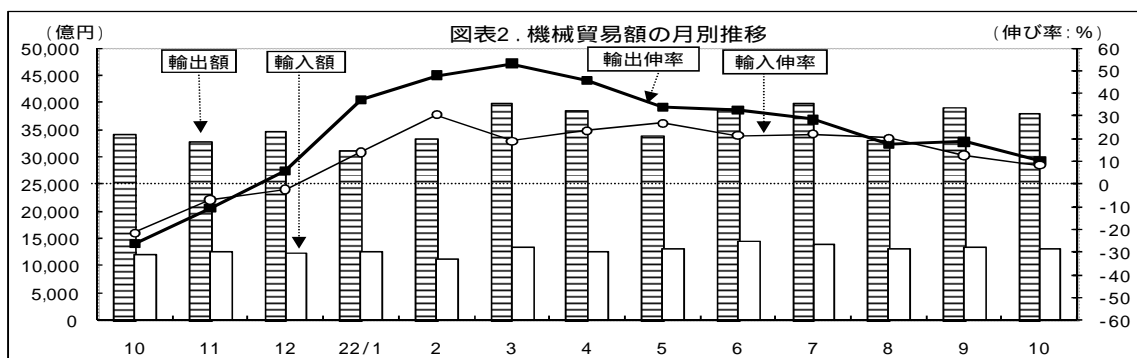


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出10.5%増と前月に比べ大きく鈍化～

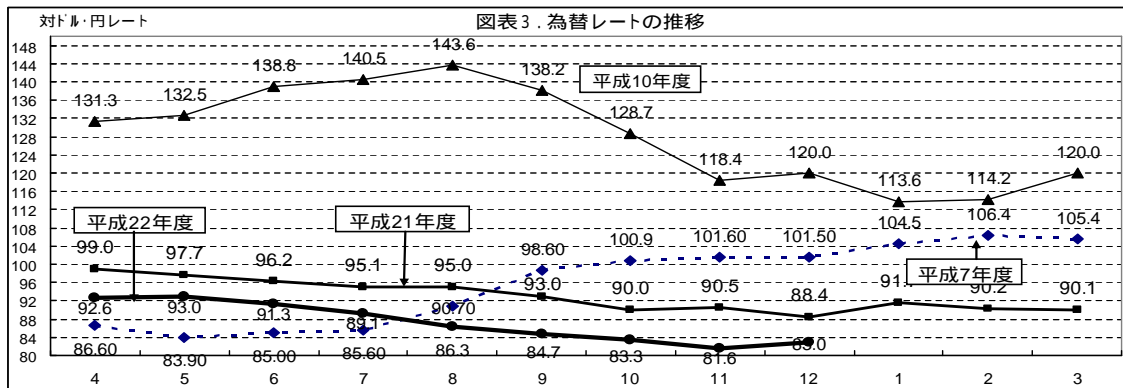
全商品輸出額の66%を占める10月の機械輸出額は3兆7,816億円、10.5%増と前月に比べ伸び率を大きく鈍化させた(9月18.6%増)。この輸出額はリーマンショック以前の07年10月の輸出額に比べ73%(9月78%)と回復速度をやや鈍化させた。

一方、全商品輸入額の27%を占める機械輸入額は、1兆3,187億円、8.3%増と10ヶ月ぶりに1ケタ台となった(9月12.7%増)。輸入額はリーマンショック以前の74%と9月と同水準であった。



(2) 為替動向・営業日～為替は9月は6.4%、10月は5.1%、11月は1.4%の円建減少要因～

- ・10月は1ドル=83.3円と円高がさらに進み、月間では15年前の平成7年5月の月間最高値をやや上回り、前年比7.4%の円高となった。対ユーロ=113.7円でも円高状態が続き14.2%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では5.1%の減少要因となる。営業日は前年より1日少なく4.8%の減少要因となる。あわせると約10%の大幅な減少要因となる。この結果、10月の機械輸出伸び率は10.5%増であったが、実質伸び率は20.5%増となり9月よりやや伸びている(9月19.7%増)。
- ・11月は1ドル=81.6円と円高がさらに進み、月間では15年前の平成7年5月の月間最高値を上回った10月をさらに上回り月間最高値を記録し、前年比でも9.8%の大幅な円高となった。対ユーロ=113円でも円高状態が続き15.7%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では6.5%の減少要因となる。営業日は前年より1日多く5.3%の増加要因となる。あわせると1.2%の減少要因となる。
- ・12月は、対ドルが現状の83円とすれば6.1%の円高となり、対ユーロが現状の111円とすれば15.5%の円高となり、あわせて円建輸出額の4.6%の減少要因となる。営業日は前年と同じである。



(3) 地域別動向～中国が伸び率拡大、その他地域、NIES/ASEAN、EU向け伸び率縮小～

- ・10月は伸び率が鈍化したのが、最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の19%を占める中国向けで、機種では全体の19%を占める産業機械(53.9%増)、重電気機械、乗用車(いずれも30%増)、工作機械(約3倍)が好調で24.5%増の伸び率となった。次に伸びたのが、28%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けで、輸出先では、インドネシア、タイ、台湾向けが、業種では半導体製造装置等産業機械、電子計測器、建設機械、工作機械が伸び、10.3%増となったが前月を大幅に下回った。次が21%の北米向けで、産業機械、建設機械、工作機械、陸用内燃機関が大幅に伸びたが、自動車部品、民生用電子部品、デジタルカメラ等が横ばい、又は、マイナスとなり、9.2%増と前月と同水準であった。約20%のその他地域向けでは、ロシア・東欧(66%)、アフリカ(41.5%)、インド(30%)向けが高い伸びとなったが、中近東(14.1%減)、中南米(4.7%減)は前年比マイナスとなり、機種では、全体の20%を占める船舶(12%減)、重電機械(1.7%増)等が微増、又は、マイナスとなり、8.2%増と大幅に伸び率を低下させた。12%の欧州向けは、工作機械(2.4倍)、建設機械(2倍)が好調であったが、乗用車(3%減)、船舶(88.9%減)、デジタルカメラ(34.8%減)、電子計算機(5.5%減)、重電気機械(4.1%減)などが軒並み前年比マイナスとなり、0.6減と10ヶ月ぶりにマイナスになった。

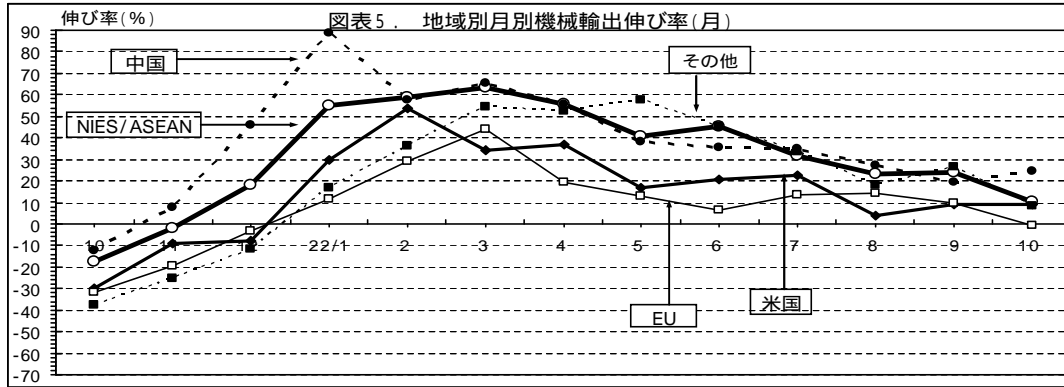
リーマンショック以前の07年10月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超え、NIES/ASEAN向けが85%、EU、北米、その他向けは未だ50～60%台の水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/8			2010/9			2010/10			対07年10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	33,079	17.7	100	38,944	18.6	100	37,816	10.5	100	0.73
北米	6,219	4.0	18.8	7,819	9.2	20.1	7,857	9.2	20.8	0.65
EU	4,219	14.4	12.8	4,710	9.4	12.1	4,685	0.6	12.4	0.55
NIES/ASEAN	10,192	23.1	30.8	11,363	24.2	29.2	10,701	10.3	28.3	0.85
中国	6,376	27.2	19.3	6,870	19.5	17.6	7,196	24.5	19.0	1.06
その他	6,072	17.9	18.4	8,181	26.2	21.0	7,377	8.2	19.5	0.65

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表5. 地域別月別機械輸出伸び率(月)

図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2010/7		2010/8		2010/9		2010/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,021	31.9	2,044	36.6	1,967	19.3	1,784	1.4
台湾	2,156	44.3	1,966	41.4	2,073	35.3	2,031	19.0
香港	2,120	25.4	1,590	1.1	1,883	13.6	1,815	1.4
タイ	1,747	53.4	1,485	28.1	1,653	30.7	1,665	22.3
シンガポール	883	14.3	938	5.5	1,150	1.3	1,003	16.0
インドネシア	884	80.6	644	49.5	904	101.1	779	48.6
マレーシア	859	30.8	739	20.6	863	27.0	807	7.2
フィリピン	557	29.6	496	21.0	531	10.9	503	6.1
ベトナム	316	4.4	262	6.9	310	15.1	277	13.6
その他地域								
中南米	3,092	28.0	1,978	1.5	2,937	52.0	2,519	4.7
中近東	1,449	9.3	1,222	24.6	1,658	6.7	1,292	14.1
大洋州	1,187	35.7	886	16.5	1,362	26.6	1,172	0.9
ロシア東欧等	1,214	101.7	1,029	51.8	1,133	49.9	1,190	66.0
アフリカ	834	36.9	560	15.7	623	25.3	723	41.5
インド	435	38.7	336	25.6	416	41.0	434	30.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～全19業種中10業種が10%以上の伸び、自動車は8ヶ月連続で鈍化～

・業種別では、全19業種中14業種が前年比プラス、うち10業種が10%以上の伸びとなった。

全体の約1/3を占める自動車が8.2%増と8ヶ月連続で伸び率を鈍化させ、機械輸出伸び率鈍化の原因となった。高い伸びとなったのが、工作機械が2倍以上、繊維機械、建設機械は65%以上、陸用内燃機関は50%以上、産業車両、ベアリングは30%以上の増加となった。

一方、通信機械(15.6%減)が7ヶ月連続で、電子計算機(12.2%減)は4ヶ月連続でマイナスとなった。その他、船舶(11.3%減)、民生用電子機械(9.2%減)、医療機械(2.3%減)も軒並み伸び率を縮小させた。

・なお、07年10月の輸出額と比較すると、リーマンショック以前の水準を超えたのは医療機械、ベアリングの2業種で、電子計算機、民生用電子機械、通信機械、産業車両はまだ40～50%台である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2010/8				2010/9				2010/10				対07/10比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	9,671	16.6	29.2	自動車	12,204	12.5	31.3	自動車	11,895	8.2	31.5	0.65
産業機械	6,242	39.2	18.9	産業機械	6,624	36.3	17.0	産業機械	6,707	29.4	17.7	0.93
電子デバイス	3,511	11.6	10.6	電子デバイス	3,593	4.2	9.2	電子デバイス	3,433	1.9	9.1	0.74
民生用電子機械	1,879	2.3	5.7	民生用電子機械	2,238	2.6	5.7	民生用電子機械	2,180	9.2	5.8	0.52
軽電気機械	1,879	14.7	5.7	軽電気機械	2,120	12.3	5.4	軽電気機械	2,114	8.9	5.6	0.81
船舶	1,187	21.0	3.6	船舶	2,539	39.9	6.5	船舶	1,800	11.3	4.8	0.96
重電気機械	1,646	9.9	5.0	重電気機械	1,833	13.5	4.7	重電気機械	1,941	12.6	5.1	0.88
光学機械	1,227	15.6	3.7	光学機械	1,217	12.8	3.1	光学機械	1,202	2.6	3.2	0.89
軽機械	1,119	11.9	3.4	軽機械	1,275	23.2	3.3	軽機械	1,298	14.3	3.4	0.72
建設機械	951	105.5	2.9	建設機械	1,077	91.3	2.8	建設機械	960	65.5	2.5	0.71
電子計算機	503	11.5	1.5	電子計算機	589	6.2	1.5	電子計算機	597	12.2	1.6	0.44
通信機械	547	18.0	1.7	通信機械	560	24.5	1.4	通信機械	565	15.6	1.5	0.56
工作機械	607	148.6	1.8	工作機械	652	140.6	1.7	工作機械	631	122.4	1.7	0.72
ベアリング	309	42.5	0.9	ベアリング	353	39.1	0.9	ベアリング	389	35.9	1.0	1.09
陸用内燃機関	304	61.5	0.9	陸用内燃機関	366	70.7	0.9	陸用内燃機関	392	59.5	1.0	0.94
医療機械	298	3.9	0.9	医療機械	373	15.0	1.0	医療機械	317	2.3	0.8	1.25
繊維機械	199	109.6	0.6	繊維機械	187	107.7	0.5	繊維機械	210	67.0	0.6	0.76
農業機械	117	14.3	0.4	農業機械	129	3.6	0.3	農業機械	164	17.6	0.4	0.85
産業車両	111	69.9	0.3	産業車両	130	43.8	0.3	産業車両	128	37.7	0.3	0.57
19業種合計	32,307		97.7	19業種合計	38,059		97.7	19業種合計	36,923		97.6	0.73

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: ティカ、TV、部品。電子計算機: ハリコ、HDD、プリンタ等部品。
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～工作機械、産業用ロボット、半導体等製造装置が2倍以上増～

・伸び率上位機種は、北米、中国、EU等全世界向け**工作機械(2.2倍)**、EU、韓国・台湾、その他地域等全世界向け**産業用ロボット(2.1倍)**、韓国・台湾、中国、EU、ASEAN等**半導体等製造装置(2倍)**、中国、その他地域、韓国・台湾等**繊維機械(67%増)**、北米、EU、その他地域等**建設機械(65.5%増)**、中国、北米、EU向け等**陸用内燃機関(59.5%増)**、北米、その他地域、ASEAN等**産業車両(37.7%増)**、EU、北米、韓国・台湾等**ヘアリング(35.9%増)**などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、**携帯電話(43.3%減)**、**ラジオ(26.1%減)**、**デジカメ(16.8%減)**、**電子計算機(12.2%減)**、**船舶(11.3%減)**、**TV(10.5%減)**であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円、前年比伸び率、10機種以内) (単位:億円)

2010/8			2010/9			2010/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体等製造装置	1,599	214.9	産業用ロボット	91	181.2	工作機械	631	122.4
産業用ロボット	84	171.2	半導体等製造装置	1,584	153.7	産業用ロボット	95	116.8
工作機械	607	148.6	工作機械	652	140.6	半導体等製造装置	1,458	100.3
繊維機械	199	109.6	繊維機械	187	107.7	繊維機械	210	67.0
建設機械	951	105.5	建設機械	1,077	91.3	建設機械	960	65.5
産業車両	111	69.9	エアコン	13	76.7	陸用内燃機関	392	59.5
陸用内燃機関	304	61.5	陸用内燃機関	366	70.7	産業車両	128	37.7
電気・電子計測器	367	58.2	電気・電子計測器	452	54.6	ヘアリング	389	35.9
ヘアリング	309	42.5	産業車両	130	43.8	電気・電子計測器	412	35.8
電子応用機器	38	37.3	船舶	2,539	39.9	時計	104	26.4
機種合計	4,569	13.8%	機種合計	7,000	18.0%	機種合計	4,148	11.0%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2010/8			2010/9			2010/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	3	79.9	携帯電話	3	84.2	携帯電話	3	43.3
発電機	85	56.2	発電機	85	58.4	ラジオ	11	26.1
原動力機械	368	22.3	ラジオ	13	32.7	デジカメ	802	16.8
据置型VTR	11	19.0	据置型VTR	10	23.2	電子計算機	597	12.2
エアコン	9	16.5	電子応用装置	42	12.1	船舶	1,800	11.3
ラジオ	11	13.0	デジカメ	764	8.4	TV	106	10.5
機種合計	487	1.5%	機種合計	917	2.4%	機種合計	3,319	8.8%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～10月は8.3%増と伸び率が更に鈍化、TV、携帯電話は大幅な伸び続く

・10月の機械輸入額は8.3%増と伸び率はさらに鈍化した。その要因は、航空機が大幅に減少したこと、二大輸入機種の一つの電子計算機が大幅に減少したことなどによる。一方、TV、携帯電話は前月に続き大幅な伸びが続いている。なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、TV、携帯電話、白物家電、医療機器、エアコン、ラジオ、時計となっている。

・地域別機械輸入額は、全体の40%と最大の輸入先の中国(23.7%増)、ASEAN(4.0%増)、EU(12.3%増)、韓国・台湾(0.5%減)、北米(16.9%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2010/8				2010/9				2010/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,939	18.4	14.9	電子デバイス	1,923	13.6	14.3	電子デバイス	1,807	10.8	13.7
電子計算機	1,460	16.9	11.2	電子計算機	1,697	21.7	12.6	電子計算機	1,589	3.7	12.0
重電気機械	620	14.9	4.8	自動車部品	638	15.5	4.7	重電気機械	606	9.3	4.6
自動車部品	612	32.6	4.7	重電気機械	625	9.3	4.6	自動車部品	589	9.2	4.5
乗用車	545	22.1	4.2	乗用車	484	24.7	3.6	TV	559	115.4	4.2
TV	501	112.1	3.8	TV	480	102.3	3.6	携帯電話	467	90.7	3.5
白物家電	436	24.7	3.3	白物家電	459	15.0	3.4	白物家電	432	3.4	3.3
医療機器	405	4.0	3.1	携帯電話	421	60.6	3.1	乗用車	431	25.3	3.3
携帯電話	397	66.2	3.0	医療機器	415	5.1	3.1	医療機器	421	1.3	3.2
民生電子部品	338	6.7	2.6	民生電子部品	390	18.4	2.9	民生電子部品	381	13.1	2.9
光学機械	318	4.6	2.4	光学機械	326	11.8	2.4	航空機	366	48.5	2.8
航空機	244	24.4	1.9	航空機	287	41.7	2.1	光学機械	312	1.5	2.4
12機種合計	7,815		60.0	12機種合計	8,145		60.4	12機種合計	7,960		60.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械